

2023

北●陸

HOKURIKU
COLLEGE

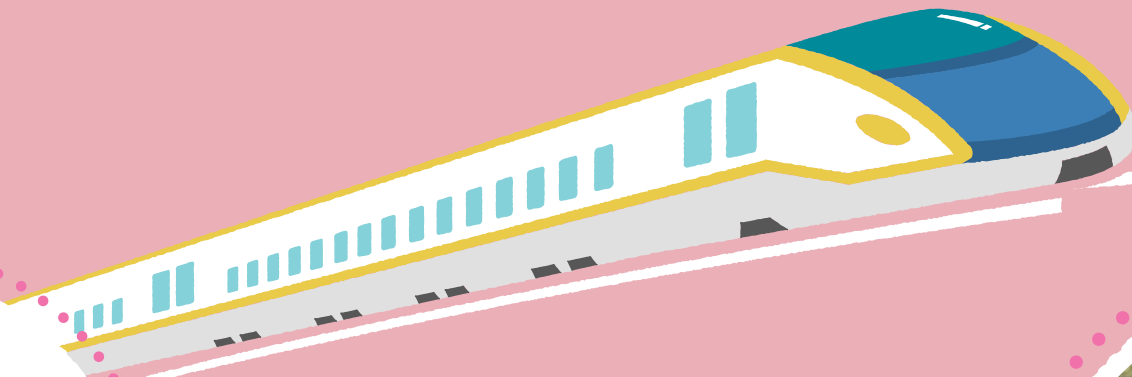
カレッジ

2023

北●陸

HOKURIKU
COLLEGE

カレッジ



体験から見えた新たな北陸。



大学生たちの魅力発掘旅！

JR西日本

2023

北陸

HOKURIKU
COLLEGE
カレッジ

はじめに

大学生たちの魅力発掘旅！
体験から見た新たな北陸。

カレッジとはJR西日本が自治体や大学と連携し、若者の視点で地域の課題解決策を提案する産官学のプロジェクトです。参加大学生は、北陸エリア3県（富山県、石川県、福井県）10市町で、観光コンテンツをはじめとした様々な現地体験や、地元の方々との交流の中で北陸エリアの魅力や素晴らしさを感じるとともに、その地域の課題を掘り下げ、大学生ならではの発想を活かした解決策を提案しました。

また、SNSをコミュニケーションツールとして活用し、参加した大学生が『北陸カレッジ』を通じて学んだことを、主体的に情報発信することで、多くの方々に北陸エリアの素晴らしさを伝えています。



contents

- P.03-04 **01** 関西大学〈石川県加賀市チーム〉
Title 彩郷(さいきょう)～加賀三原色で最強なまちに～
- P.05-06 **02** 和歌山大学〈福井県福井市チーム〉
Title 未来の私へ～タイムカプセルポスト～
- P.07-08 **03** 清泉女子大学〈福井県越前市チーム〉
Title 千年の時を越え手つながる
- P.09-10 **04** 追手門学院大学〈富山県滑川市チーム〉
Title FASHION～FASHIONも滑川も選択肢は無限大～
- P.11-12 **05** 神戸松蔭女子学院大学〈富山県射水市チーム〉
Title 香りで満たして Fully rose, Fully time.
- P.13-14 **06** 和歌山大学〈富山県南砺市チーム〉
Title DICE KEY NANTO
- P.15-16 **07** 神戸松蔭女子学院大学〈石川県珠洲市チーム〉
Title #七輪を囲むめぐり旅
- P.17-18 **08** 関西観光教育コンソーシアム〈石川県白山市チーム〉
Title 白山市でジオパークを体感！若者が訪れる白山市へ
- P.19-20 **09** 広島経済大学〈福井県敦賀市チーム〉
Title つるがでつながる～食・自然・人とつながる～
- P.21-22 **10** 流通科学大学〈福井県小浜市チーム〉
Title 感謝×小浜の魅力～母娘の卒業旅行～

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

● 認知度について

石川県＝金沢のイメージが強く、豊富な観光資源が県外からはあまり認知されていない。

● 周遊の柔軟性について

観光スポットが点在しているため、観光客が1つのエリアに留まってしまう。

① 人口が最も多い関東圏からのアクセスが不便

➡ 北陸新幹線延伸による関東圏からのアクセスの簡便化が新規顧客獲得に繋がる。

② 代表的な観光スポットが確立されていない

➡ 日帰り観光や短時間で立ち寄り可能なスポットの作成。

③ 魅力的な観光資源を伝え切れていない。

➡ 発信力のある若者へのアプローチ、PR方法の再検討。

💡 街歩きを楽しめるコンテンツを考案することで、加賀市の魅力を届けたい!

地域の魅力
選んだ理由

石川県加賀市は豊かな温泉文化が息づく街であり、食・歴史・自然の色とりどりの魅力に溢れる街です。こだわりの食材を使った料理の数々、歴史的景観が色濃く残るレトロな街並み、雄大な湖畔や四季折々の景観が見どころです。さらに、地元愛にあふれた人の温かさから、日本のふるさとのような懐かしさが感じられます。これらの魅力を1人でも多くの人に届けたいと思い、加賀市様と共同でプロジェクトを進めたいと考えました。



旅の調査 data

Q 来訪者の年代 (金沢市と加賀市の比較)

- 20代
金沢 28.3% 加賀 15.4%
- 40～50代
金沢 38.0% 加賀 38.9%

来訪者のメイン層40～50代。若者へのアプローチが必要。
※2022年度金沢市観光調査結果報告書

Q 移動手段は?

- 市営バス
- 車
- タクシー
- 周遊バス
運行数9本/日

観光での利用が難しい……

Q 加賀市といえば?

“加賀温泉郷”と呼ばれる3つの温泉地がある街。

- 📍 片山津温泉
柴山瀉の湖畔に旅館群が並ぶ温泉地。
- 📍 山代温泉
昔ながらの景観が残る温泉地。
- 📍 山中温泉
自然と伝統文化が残る渓谷の温泉地。

顧客対象 target

これまで取り込めていなかった新しい層をターゲットにし、加賀市に新たな彩りを!

20代女性

要点 main points

さいきょうたび 一度では体験しきれない魅力で溢れる旅 “彩郷旅”

知る ➡ 訪れる ➡ また来たいと思う ➡ 第二の故郷に

日本のふるさとのような加賀市に「再び訪れたい」と思う新たな彩りを添える。

Professor's comment



関西大学商学部 / 館野ゼミ 館野 仁子 教授

参加の学生メンバーには、社会経済の動きに幅広く関心を持って、常識にとらわれない柔軟な発想での活動を望みます。自治体・地域が抱える課題に対し、地域の方々に支えられて、地域の新たな価値発見と魅力創造に努める活動は、学生メンバーにとっては得難い経験となっています。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

plan 1

自然に彩りを! クリスタルステージ

自然豊かな魅力を肌で感じられるクリスタルステージが自然に新たな彩りを添える!

point 柴山瀉水上写真スポットの設置

柴山瀉の鏡のような湖面を活用し、浮御堂周辺にクリア素材の写真スポットを新設。湖面上に立っているかのような臨場感を味わえる!

- ウエディングフォトや成人式写真など、地元住民の記念日の撮影場所としての利用。
- 水上花火など片山津温泉で開催されるイベントとのコラボ。

✔ 観光スポット化と、地元住民にとっての町のシンボル化に

✔ 『風景+人物』をセットにした、インスタ映えによる若者訪問者数の増加

plan 2

歴史に彩りを! いとエモし散歩

新たな発見や過去と今をつなぐ街歩きが歴史に新たな彩りを添える!

point 参加型『歴史×街歩き×ミッション』

イベント参加者が、貸し出し用のフィルムカメラを使って散策しながらミッションに合った写真を撮影! クリアポケット付きアルバム風のミッションシートで持ち帰って旅の思い出にしてもらう。

映画『レディ加賀』コラボミッション～ロケ地めぐり～

- 片山津温泉の花館検番でタップダンス練習を再現
- 山中温泉こおろぎ橋でタップダンスポーズ
- 山代温泉古総湯とお気に入りの加賀グルメ etc

- ✔ 観光資源をつなぎ観光客の動きを活性化
- ✔ 観光客が主体的に魅力を発見できる仕組み
- ✔ 加賀市とコラボコンテンツ両方のPRに

plan 3

食に彩りを! 加賀つなぐるめ

地産地消の常識を覆すことで食に新たな彩りを添える!

point 加賀市をつなぐ地産地消体験

JA加賀が運営する農産物直売所『元気村』で食材を購入し、提携する飲食店等に食材を持ち込み、料理を提供してもらう。利用者自らの手で選んだ新鮮な食材を味わうことができる。

- 買い物かごはピクニックバスケットを用意。
- メニューカードをかわいいポストカードサイズに。

- ✔ 広範囲にお金が落ちる仕組みをつくり地元飲食店の盛況やヒトの流れの活性化
- ✔ 観光客・地元食材・観光資源をつなぐ

自然 食 歴史
加賀三原色の完成!
何色にでも染まれる最強なまち。想いのままに描く自分だけの旅を!

おすすめスポット

Recommended spots

柴山瀉カヤック



太陽の傾きとともに湖面の色が移り変わる様子や、夏の夜の水上花火は圧巻。カヤックでのんびりゆったり癒されよう。

お花見九兵衛



『山中温泉』を贅沢に満喫できる湯宿。桜吹雪で宿泊客を歓迎するエントランスや貸し切り露天風呂は旅の思い出作りにピッタリ。

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

- 周知されている強み
食べものがおいしく、体験スポットやSNS映えるスポットを多く楽しめる。一乗谷など歴史ある建造物や民宿も充実している。
- 体験から感じた弱み
2次交通が不便で、個性的な観光スポットが少ない。情報発信が継続できればリピーターにもつながりそう。

『癒し』と『交流』をテーマにリフレッシュになるコンテンツをつくる

- 1 旅先の醍醐味『食』に重きを置く
➡ リアルタイムで最新情報が得られる仕組みの充実。
- 2 絶景スポットの景色や空気で疲れを癒したい
➡ 自転車でちょうど良い距離感の『越前海岸』で思い出に残るような体験を提供。
- 3 旅ならではの、現地の方との特別な交流
➡ 第二の故郷と思えるくらいの人のあたたかさで、心あたたまる時間を過ごしてもらえる交流の場。

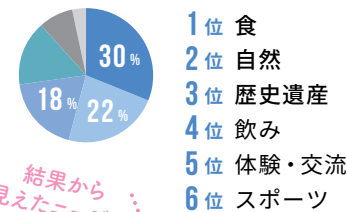
地域の魅力
選んだ理由

福井市は県庁所在地でありながら、海・山・川などの多様な自然があり都市部からも比較的アクセスしやすい場所です。また、福井市は人の温かみがとても感じられる点が1番の魅力だとおもいます。体験・見学系の観光スポットが多いので、観光客として福井市を訪れても人の温かさや親しみやすさを感じることができます。



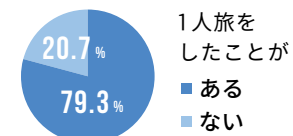
旅の調査

Q YouTube 上位5名の動画内容
検索ワード: 『女子1人旅』



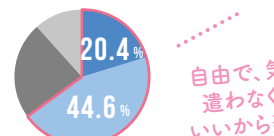
結果から見たニーズを参考に!

Q 1人旅の経験・目的



- 1位 神社仏閣 世界遺産巡り
- 2位 温泉
- 3位 グルメ

Q 東京で働く女性に聞く 1人行動は好き?



自由で、気を遣わなくていいから楽!

※Ozmallサイトより引用

顧客対象 target

ひとり気ままなリフレッシュな時間を

20代~40代女性の1人旅

要点 main points

あなたがつくる第2の故郷 “かいふくい”

自分と向き合い、地元の方からもパワーを貰えて、心身ともに『かいふく(回復)』できる旅。

Professor's comment



和歌山大学 観光学部 / 木川 剛志 教授

2024年3月16日の北陸新幹線の金沢・敦賀間の開業を控え、受け入れ先の福井市も観光について熱心に取り組んでいる時期でした。その地元の想いに応えるためにも学生たちは力が入った提案ができたのではないのでしょうか。観光学という実学の学修において重要な実践的な学びを得ることができました。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan
観光プランの提案

plan 1

未来のわたしへ タイムカプセルポスト

point 個性的なポストを設置

熱硬化性樹脂 (PTFE や PFA、アクリル など) で製作した透明のポストを、個性ある写真スポットに!



※透明ポストのデザインイメージ

- ポスト本体が透明なことで、時間や四季折々で移り変わっていく景色を楽しめる。
- 未来の自分に向けて手紙を書くことで、ゆっくり自分自身を見つめ直す有意義な時間に。
- 過去の自分から届く“特別な手紙”によって旅の思い出がよみがえり、再度福井市を訪れたいくなるきっかけになる。

plan 2

サシェ (香り袋)

point 形に残る思い出としてサシェづくり

1人旅の目的に多い『気兼ねなく自由な時間を過ごす』・『疲れを癒す』のサポート役にもなる、香りのリラックス。

- 福井県にちなんだデザインで、より印象的でPRにもなる。
- 持ち帰ったサシェの香りが薄くなっていくと“また行きたい”と思えるきっかけに。
- 記憶と嗅覚の結びつきの強さから、サシェの香りが旅の思い出を鮮明に呼び起こしてくれる。



組み合わせ自由! カスタマイズ式

- カラ
- ホワイト
 - グリーン
 - ブルー
 - パープル

- 香り
- バラ
 - ヒノキ
 - ベルガモット
 - ラベンダー

いくつかのパターンを試したくなる♡

plan 3

ふくいね掲示板

point リアルタイム情報で回遊性向上

- 『1人でも入りやすい』・『1番人気』など個人に合った繊細な情報まで発信。
- 利用することでポイントが貯まるお得な仕組み。

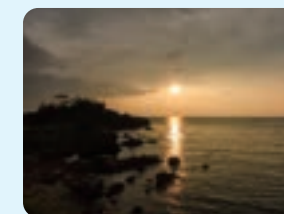
plan 4

ふくチャリ 改造版

point すでに便利なレンタサイクルを更に便利に

- ボディカラーを、『越前海岸』PRにもなる海をイメージさせる青色に。
- 好きな音楽を楽しみながら走れるよう、スピーカーとスマホスタンドを搭載。
- 交通系ICなどの決済方法を増やし、利用者の範囲を拡大。

亀島遊歩道の夕日



日本海が一面に見渡せる海岸に沿って遊歩道が整備されている。ここから見る夕日は、一見の価値あり!

大安禅寺



とても親しみやすい住職による座禅や講話、切り絵体験など、他ではなかなかできない体験を試みよう。

おすすめスポット

Recommended spots

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

● 越前市が求める課題解決

- 1 伝統工芸品が若い世代にも着目される仕掛け
 - ➔ 日常生活で伝統工芸品の活用が減少する中、身近に関心を持ってもらいたい。
 - ➔ 伝統工芸品の施設に足を運んでもらいたい。
- 2 令和6年度の新幹線延伸・大河ドラマ放映を生かした、認知向上の取り組みの検討

伝統工芸品に対するハードルの高さや、実体験でこそ解る良さを発信する必要がある。

● 越前市の魅力

- 1 温故知新
- 2 地元の方があたたかい
- 3 食事がどれも絶品

2005年 武生市と今立町が合併し誕生。文化財の保有数が県内1を誇る。紫式部が暮らした土地として、食文化や伝統工芸品が現在も残っている。

💡 新しい出会い・発見ができる
気ままなひとり旅にぴったり!

地域の魅力
選んだ理由

福井県越前市は、紫式部が唯一都を離れて訪れた地です。文学部で『源氏物語』を学ぶ私達は、そんな越前市に縁を感じ、選びました。また、のどかな田園風景や、地域の方々の温かな繋がり、『ボルガライス』というインパクト抜群のご当地グルメ、1000年以上の歴史を持つ伝統工芸品などがあります。越前市に行けば、そこが第二の故郷になること間違いなしです!

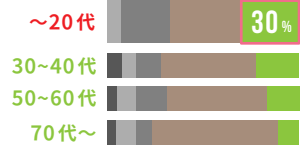
旅の調査 data

Q 国内旅行の宿泊の同行者は?

- 1位 夫婦2人で
- 2位 ひとり旅
- 3位 友人
- 4位 子連れ家族
- 5位 恋人

※じゃらん宿泊旅行調査2023

Q 越前市の認知度



- まったく知らない
- 名前を知っている程度
- 場所や特産品が分かる程度
- 知っている ■ 良く知っている

※越前市提供資料より

Q 大河ドラマによる影響は?

越前市の観光客
10% (20万人) 増加!
➔ 300万人を目指す

若い層にも来てほしい...

顧客対象 target

自分の赴くままに
時間を使えて満足度大◎

20代女性のひとり旅

要点 main points

“オーバーツーリズム対策”

越前市は、多くの観光客を抱える体制が不十分
➔ プラン自由のひとり旅で観光客を分散。

Professor's comment



清泉女子大学 文学部 / 吉岡 昌紀 教授

越前市の素晴らしい歴史、自然、産業に触れ、また、越前市への熱い思いと行動力を持っていらっしゃる方々と接するなかで、学生は、提案をまとめるという課題をはるかに超えた多くのことを学ぶことができました。いつまでも残る貴重な学びです。ありがとうございました。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

plan 1

道の駅『越前たけふ』で伝統工芸

point.1 ときどき販売会

女性が普段使いできるようなデザインのアクセサリーや雑貨を販売。

- 越前和紙を使用したイヤリング
- 越前箆筒職人デザインのコースター

point.2 ワークショップ

工芸品に使われる材料や、その廃材を使用して手作りのお土産として思い出を持ち帰ってもらう。

- 越前箆筒の匏屑でつくるバラのオブジェ
- 越前打刃物の技術“鍛造”でバングルづくり

plan 2

伝統工芸品を生活に

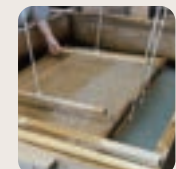
point 20代応援グッズ

日常生活に取り入れやすい家具や雑貨を20代向けのデザインで製作。



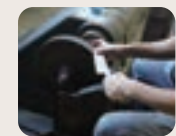
1 越前箆筒『3 way箆筒』

収納・椅子・テーブルの3wayで使用できる便利な箆筒。ストッパー付きキャスターで移動もラクラク。



2 越前和紙『しきぶんつう』便箋

平安時代の手紙文化を意識した、枝に手紙を結んであるデザインの便箋セット。日本の伝統文様柄の薄様の和紙にムラサキシキブの花の香りがついている。



3 越前包丁『Pro Family』

包丁と包丁研ぎのセットで、未永く使用することができる。お好みの包丁・柄を選び、仕上がった商品に名前を付けて自分だけの特別な包丁に。

plan 3

紫式部を身近に

point.1 食べ歩き

1 『いとおかしきぶ』

紫式部をイメージした和菓子の自動販売機を紫式部公園に設置。



練り菓子
マドレーヌ
最中



大福

point.2 性格診断

2 『姫タイプ診断』の姫増加・改良

現在の7人から10人に増加。診断結果の情報には『診断日』、『似た性格の姫ベストシーン紹介』、『MBTI 相性の良い姫を提案』を情報追加し充実感アップ。



未摘花



玉璧

明石の君

point.3 感動の共有

3 『紫式部ポスト』

『紫ゆかりの館』に設置。感想を投函してもらう。



正面 側面 裏面鍵付

卯立の工芸館



伝統的工芸品である越前和紙ができるまでの過程を近くで見ることができ、越前和紙の奥深さを感じるられる施設。

岡太神社・大瀧神社



紙の神様をおまつりする、建築や雰囲気神秘的で心惹かれる神社。絵馬として珍しい、ハート型の和紙絵馬をかわいく奉納しよう。

おすすめスポット

Recommended spots

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

● 課題と問題意識

- 1 3～5月以外に観光するきっかけが少ない
→ ホタルイカ以外の観光資源が乏しい。
- 2 行ってみないと現地の良さが分からない
→ 観光資源の情報が観光客まで行き届いていない。
→ 現地での過ごすプランが具体的に描きづらい。

● 強み

- ✓ 18世紀初頭に売薬の文化が広まった、歴史とモノづくりのある街。
- ✓ 富山湾と立山連峰に囲まれた自然ある街。
- ✓ SNS映えするカフェが多く、若い人も訪れやすい。
- ✓ 富山駅から滑川駅まで4駅でアクセスしやすい。

💡 インスタ映え & 滑川らしさを表現した、若者向けスイーツの提案・開発を!

地域の魅力 選んだ理由

“ホタルイカの街”として全国に知られているように、滑川市の魅力といえばホタルイカ。滑川市にある『ほたるいかミュージアム』では、ホタルイカの発光ショーを見学できたり、富山湾に流れている海洋深層水に実際触れたりなど、体験学習ができる。“スイーツを制作する”という目標があった中、他の自治体よりも考案につながる魅力を感じました。



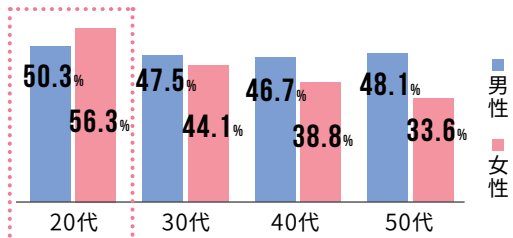
旅の調査 data

Q 滑川市への宿泊者数が多い県は?
(6014人中の割合)

- 1位 大阪府 (1,740人 / 28.93%)
- 2位 愛知県 (981人 / 16.31%)
- 3位 東京都 (538人 / 8.95%)
- 4位 京都府 (390人 / 6.48%)
- 5位 長野県 (372人 / 6.19%)

※観光予報プラットフォーム推進協議会『観光予報プラットフォーム』2022年データより

Q 旅行の予定はある?
(2023年4月～2024年4月の1年間)



※JTB総合研究所『新型コロナウイルス感染症拡大による、暮らしや心の変化と旅行に関する意識調査』より

20代の関心が高い!

顧客対象 target

男女関係なく娯楽を楽しめる

関西住まいの
20～25歳の男女

要点 main points

“FASHION”から連想する言葉

楽しい / 多様性 / スタイル / 個性 / 自由 / 流行 / 独自性
→ 自分のスタイルに合う形にフリーカスタマイズ!

Professor's comment



追手門学院大学 地域創造学部 / 安本ゼミ 安本 宗春准教授

北陸カレッジでは、富山県滑川市の現地研修から魅力発掘、スイーツの企画、地域課題解決への提案などを、学生たちが主体的かつ実践的に学習できる貴重な機会となりました。この経験は、参加学生が社会に出てから、大いに役立つものになると感じています。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

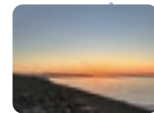
plan 1

4つの『しお』で旅を自由にカスタマイズ

point FAN (観光客) × SHIO (観光資源) = “FASHION”
『しお』をテーマに、滑川のおすすめスポットを提案。

塩

- ウェーブパークなめりかわ『なめりかわでかいとパフェ』
▶ 綿あめが溶ける瞬間はまるで雪のよう!
- Grappa グランヴィラ『富山湾を一望できるサウナ施設』
▶ 身も心も整おう。天体観測もおすすめ!



汐

- 富山湾海岸『ロマンチックな夕日』
▶ 穏やかな波の音を聞きながら、ゆったりとした時間を過ごそう!

潮

- 富山湾クルージング『クルージング体験』
▶ 荒々しい日本海を感じながら、船から見える立山連峰を眺めよう!

SHOW

- 滑川海兵公園『壮大な立山連峰・迫力ある富山湾』
▶ パノラマ撮影で海と山を独り占め!
- ほたるいかミュージアム『ホタルイカの発光ショー』
▶ 忠実に再現したホタルイカの発光間近で見学!

©滑川市役所

plan 2

なめりかわでかいとパフェ

point “FASHION”(流行)にとられない、多くの方から長く愛されるようなスイーツ。



1 滑川の自然を演出

- ソフトクリーム…立山連峰 ● 綿あめ…雪
- チョコ…立山杉 ● ゼリー…ホタルイカの発光

2 パフェの意外性を歴史になぞらえる

- 売薬の歴史よりさまざまな具材を調合し、和と洋を組み合わせて意味を持たせる。
- 《洋》ブルーハワイのゼリー
ホイップクリーム/ソフトクリーム
チョコ/わたあめ
- 《和》どら焼きの皮/あんこ/抹茶パウダー

3 特産を活かしている

- つぶつぶ塩ソフトクリーム
- 海洋深層水を使ったゼリー
- 塩キャラメルソース

4 思いを込めた3つの『たくさん』

- ※でかいと=たくさん
- たくさんの人に来てほしい
- たくさん食べてほしい
- 思いがたくさん詰まっている

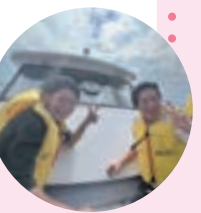
plan 3

行って楽しい!
『グッと北陸 満喫チケット』

point 北陸カレッジ参加自治体で使用できる限定チケット。

- 《新大阪一目的地 JR 駅》の普通運賃と学割をした運賃の差額をWESTERポイントに還元。
- 切符の有効期間中、北陸エリアで使用可能。

新幹線延伸で流行る北陸への旅!
豊かな地域を楽しもう。
= FASHION



Grappa グランヴィラ



ダイナミックな富山湾を見下ろす絶景を前に、プライベートサウナを楽しめるグランピング施設。心も身体もデトックス!

富山湾岸クルージング



富山湾から望む立山連峰のパノラマを、爽やかな海風とともに身体いっぱい楽しめる。日本海特有の荒々しい波を体感!

おすすめスポット

Recommended spot

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

●課題

- ✓ 滞在時間が短く、宿泊客数が少ない。
- ✓ 店舗前で臨時休業と知ることが多い。
- ✓ 内川の認知度が低い。
- ✓ 食香バラの認知度が低い。

●『食香バラ』の強み

- ✓ 生産量が1位。
- ✓ 有機無農薬で栽培。
- ✓ 香りも良く病気にも強い。

国内での本格栽培はわずか2か所!

①リピーター確保

- ➔ コラボ商品や食香バラをきっかけに内川エリアの認知度を高める。

②宿泊客数増加

- ➔ 締めローズのパフェで夜の滞在時間を増やす。

③周遊の際の効率化

- ➔ 店舗や施設の営業時間をリアルタイムで記載。

💡 Fully rose, Fully time.で射水市を盛り上げる!

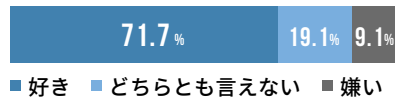
選んだ理由

富山県射水市は、白えび漁や立山連峰、内川沿いなど他の地域ではマネてこない強みがありました。他の地域では見ることのできないものが多く、特に白えびは射水市が独占しています。その強みを活かすためのアイデアをぜひ射水市のみなさんと考えたいなと思いました。また、市の紹介の際、分家さんのプレゼンテーションが強く印象に残りました。それが一緒にやりたいと思ったきっかけです。



旅の調査 data

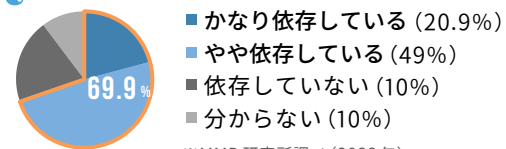
Q パフェは好き?



※ぐるなび調べ(2018年) 20~60代の男女ぐるなび会員2199名

札幌発祥「締めパフェ」の人気で「夜パフェ」含む検索動向が2022年から急上昇!

Q スマホ依存症の自覚は?



※MMD研究所調べ(2022年)

スマートフォンを使用し続け、昼夜逆転するなど生活環境に問題が出てくる。触れない状態が続くイライラする精神的依存状態のこと。

顧客対象 target

スマホ生活から解放され、心と体をリフレッシュ! 情報発信力にも期待。

スマホ依存症の人

要点 main points

“いっぱいバラで満喫”



- お腹を満たし身体を癒す
 - 香りで心を癒す
- 脳に良い刺激を与える!

Professor's comment



神戸松蔭女子学院大学 / 青谷ゼミ 青谷 実知代 教授

新たなフィールドで好奇心旺盛にモノを見て、地域の人々と交流を深めることで、世の中にはいろいろな価値観があり多種多様な考え方があることに気づき、その中で思考の幅を広げながら地域課題や観光の魅力を高められるように取り組んでほしいという期待があります。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

plan 1

SURM ~ 食香バラの香り袋 ~ (サーム)

point 『SURM』=『内川の香り袋』と連想されるくらいの浸透をねらう。

Scent (香り) + Uchikawa (内川) + Rose (バラ) + Memory (思い出)

● 香り袋の効果

- ➔ ホルモンバランスが整い、リラクセス・リフレッシュできる。
- ➔ 香りは五感の中でダイレクトに海馬を刺激し、記憶と連動しやすいためいつでも内川を思い出してもらえ。

嗅覚が最も記憶に残りやすい!

● 作り方

《材料》香原料/綿/布袋/乳鉢又はボウル スプーン/紐

1. 香りを確かめながら、材料をよく混ぜ合わせる。
2. 混ぜ終わったら布袋に入れ、綿で蓋をするように詰める。
3. 布袋の口をW形に折り、口から1センチほど下のところで紐で縛る。

plan 2

締めローズ『バラゼリー』

point 締めパフェにならぶ新しいメデザート

古民家カフェ『内川茶房 月と兎』の人気パフェにバラゼリーを追加メニューに。

- 食香バラによって、他のパフェよりもさっぱりとした味わいになり締めデザートとしてぴったり。
- 食香バラの味の印象を強く残すために器の一番下の層を食香バラのゼリーに。
- SNS映える見た目に仕上げて写真を撮ってもらうことで食香バラの宣伝につなげる。



うさぎの耳がかわいい「月と兎」の人気パフェ。



和スイーツを楽しく風情あるお店もぴったり♡和服スタイルも

まるで絵本のバラ園! 世界のような



plan 3

『tabiwa by WESTER』のさらなる活用

point 周遊を効率かつ充実させるために

店舗前で臨時休業と知ることが多く、行程を効率よく周れなかったり、複数の手段を用いないと正確な情報を得られなかったという経験。

アプリで店舗情報をリアルタイム記載 旅の時間ロスをなくし、ストレスなく旅に集中してほしい。

新湊観光船



海王丸パークから出航、近代港湾から川沿いの漁船と民家が織りなすノスタルジックな風情たっぷりの内川へ遊覧します。

バラ摘み体験



食べることができる食香バラの早朝花摘み体験。普段から知る薔薇の香りや違い、優しい匂いの中に強さも感じ、うっとり。

おすすめスポット

Recommended spots

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

● 7つのエリアに分かれた、日本の古き良き伝統文化が色濃く残るまち

1. 五箇山エリア — 相倉と菅沼に世界遺産の合掌造り集落がある。
2. 城端エリア — 古い蔵や石畳、路地が残る『越中の小京都』。
3. 福光エリア — 世界的版画家の棟方志功が6年8か月暮らした土地。
4. 福野エリア — 5月に開催される『福野夜高祭』の大灯籠が大迫力。
5. 井波エリア — 数多くの彫刻工房が軒を連ねる、街全体がアート。
6. 井口エリア — 『椿のまち』として親しまれ、四季折々の自然があふれる。
7. 利賀エリア — 四季のイベントが多く開催される緑豊かな大自然。

➡ これほどの観光資源があるのに、観光客の滞在時間が短い。

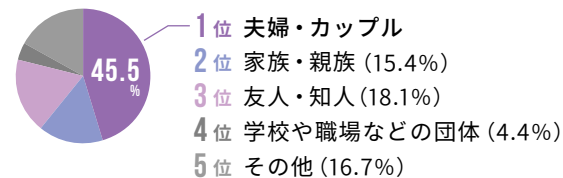
💡 レンタサイクルを有効活用した、多くのエリアを巡ることができる観光プランの仕組みで、滞在時間や宿泊客の増加をめざす!

地域の魅力 選んだ理由

独自の伝統文化が発展しており、地域資源が豊富にある南砺市にアイデア創出の可能性を感じたため候補地として選択しました。南砺市の魅力は、知名度が低いものの観光資源は多い点です。観光地化されていない影響で日常の延長線上にある街本来の魅力が体験できるため、近年需要が高まっている本物志向の旅を求める人、日常の喧騒を忘れて旅行したい人に適した観光地となっています。

旅の調査 data

Q 南砺市へ訪れるのはどんな人が多い?



※南砺市『令和4年度南砺市観光動態調査』より

Q 日本での平均宿泊数が多い国は?

- | | | | |
|----|--------|----|---------|
| 1位 | フランス | 2位 | オーストラリア |
| 3位 | イギリス | 4位 | アメリカ |
| 5位 | シンガポール | 6位 | 中国 |

1人あたりの総額旅行支出も大きな差をつけて欧米が占める!

※観光庁『2023年7~9月期外国人消費者動向調査』より

顧客対象 target

夫婦旅に人気の南砺市の旅

欧米豪
30~40歳の夫婦

要点 main points

“大きなサイコロ”の話題が人を呼ぶ!

各エリアの主要施設に大きなサイコロを設置。
➡ 1つでも多くのスポットに足を運ぶきっかけに。

Professor's comment



和歌山大学 観光学部 / 佐々木 啓 助教

多くのチームが3、4年生のゼミ単位で参加する中、南砺市チームは1年生中心のチームで挑みました。まだ観光学を学び始めたばかりの学生が大半ではありましたが、非常に具体的かつロジカルで実現性があるだけでなく、大学生らしくフレッシュな創造性に富んだ提案をしてくれました。本提案が実現することを願っています。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

plan 1

レンタサイクルで周遊する DICE KEY NANTO

point 『なんチャリ』を利用して、エリアを周遊できるプラン

各エリアの主要施設に大きなサイコロを設置し、出たサイコロの目のプランを体験する。エリアをゲーム感覚で巡る楽しさや、サイコロで選択するワクワク感で滞在時間を長くしてもらう。

プラン例

城端エリア《城端駅》

- いなみ木彫りの創遊館で木彫体験をしよう。体験後、10段ソフトクリームをプレゼント!
- リピーター続出! 『井波屋』の『和菓子屋さんのプリン』を食べよう。
- 地元食材にこだわって作られた『YUINOTE Histoire NANTO』の本日のスイーツを食べよう。

『ささら屋 福光本店』で『せんべい焼き体験』をしよう。

曳山会館で伝統的なお祭りについて学び、曳山の迫力を体験しよう。

『菓子蔵処 田村萬盛堂』でお菓子を購入し、『木型館』で和菓子作りの歴史を知ろう。

- なんチャリステーションの増設 ➡ 現状設置されている6箇所に、新たに3箇所を加えることで周遊範囲を広げる。
- コインロッカーなどの充実 ➡ すべてのなんチャリステーションに手荷物預かりサービス『ecko cloak』を導入。

plan 2

DICE KEY NANTO PREMIUM ガイド付き すぐろくツアー

point 料金を2万円~3万円に設定し、高単価かつ高付加価値の旅行商品。

- 1 プライベートガイド
ガイドブックでは分からない魅力を発見。
➡ 満足度の向上
- 2 広範囲が可能な移動手段
エリア内は『なんチャリ』、エリア外はタクシーで移動。
➡ 移動、交通手段の不安解消
- 3 完全予約制
1週間前までの予約で1日1~2組限定。
➡ 特別感を演出

プラン例

- 大きなサイコロを使い、3エリアから1つを選出。
- 井波の木彫師が制作した木のサイコロを使用し、旅の思い出として持ち帰ってもらう。
- 各エリアごとのすぐろくシートを作成。
《半日コース》井波・福光・城端・五箇山
《1~2時間コース》福野・井口・利賀

- ガイドの増員 ➡ ガイド育成の講習会を開催。
- タクシーの確保体制 ➡ 地元タクシー会社との連携で専用タクシーを。

滞在時間長期化 / 新たな魅力創出 / 消費額増加 / 周遊性向上

Bed and Craft



日本随一の木彫りのまちにある、職人に弟子入りできる宿。ワークショップに参加し、プロの手しごとを間近に体験してみよう。

八日町通り



数多くの井波彫刻の工房が軒を連ねる、風情漂う石畳通り。通りの店先に隠れている31匹の木彫り猫を探すのもGood!

おすすめスポット

Recommended spots

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

- 珠洲市が求める課題解決
 - ➔ 観光先として選択してもらうための地理的条件・二次交通の工夫。
 - ➔ 『通過型観光』から『滞在型観光』へ。
 - ➔ 『食の魅力』の掘り起こしや発信。
- 現地研修で得られた魅力の発見
 - ➔ 最端の地は、自然が豊かで特産物が豊富。
 - ➔ 地元の方の愛情や明るさ、親切さに魅了。
 - ➔ 『奥能登国際芸術祭』後のアート作品を移動しながら作品を鑑賞できる。

地域の魅力 選んだ理由

珠洲市は、奥能登の豊かな自然が作り出した見附島や3年に1度の奥能登国際芸術祭が開催されているなどの魅力があります。『能登半島の最先端』というインパクトのある言葉に惹かれ、謎に満ち溢れた珠洲市にある新たな観光資源を発掘したいと思いました。珠洲市は四季ごとの旬の食材が豊富であることから私たちの強みである『食』を活かした魅力発信ができるのではないかと思います、珠洲市を選びました。



旅の調査 data

Q 観光客数が多かった年は?

- 1位 平成27年 (120万人超え)
 - ➔ 北陸新幹線金沢開業
 - ➔ NHK連続テレビ小説『まれ』放映
- 2位 平成29年
 - ➔ 奥能登国際芸術祭 開催年

前年度より
118.3%増!

Q 地元ならではの 美味しい食べ物が 多いと感じた人が 1番多い県は?

- 1位 石川県 (78.3%)
- 2位 北海道 (77.6%)
- 3位 富山県 (76.3%)

※『とーりまかし』項目別に見た評価の高い都道府県ランキングより

Q 魅力ある特産品や お土産ものが 多いと感じた人が 1番多い県は?

- 1位 北海道 (67.1%)
- 2位 沖縄県 (66.1%)
- 3位 石川県 (62.9%)

顧客対象 target

メリットのあるものを選び、
省エネタイプ。
情報発信・取得に敏感!

シンプルな暮らしを好む
Z世代のエシカルコンシューマー

要点 main points

“最端の地で 最高級七輪による最食美めぐり”

珠洲市の伝統工芸品である珪藻土七輪で、
食の旨みと語る楽しさ、
そして暮らしの豊かさを感じられる

Professor's comment



神戸松蔭女子学院大学 / 青谷ゼミ 青谷 実知代 教授

新たなフィールドで好奇心旺盛にモノを見て、地域の人々と交流を深めることで、世の中にはいろいろな価値観があり多様な考え方が存在することに気づき、その中で思考の幅を広げながら地域課題や観光の魅力を高められるように取り組んでほしいという期待があります。



アートに次ぐ、 話題の財宝が多く存在!

- 1 珠洲市の伝統工芸品『珪藻土七輪』に大注目
- 2 『珪藻土七輪』を囲んでつなぐ、美食旅

伝統工芸品
珪藻土七輪 + 豊富な
特産物食財 = 新たな珠洲の
話題性

超特別な珠洲の七輪

- ✓ 2022年に『珠洲市無形民族文化財』認定。
- ✓ 『珪藻土岩の切り出し七輪技術』江戸時代より続く伝統的な工法で、全ての工程が手作業で行われる。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

plan 1

7つのパワースポットで七輪

point 『#七輪を囲んで〇〇』

スポットによって特徴が異なる七輪体験を、『#七輪を囲んで〇〇』でSNS投稿。
環境に良く無駄のないことや素材そのものの美味しさが、正しく広く伝わる。

- 〈場所〉 1.道の駅すずなり 2.道の駅狼煙 3.道の駅すず塩田村 4.寄り道パーキング若山の庄
5. E'cafe 6. 二ニ味珈琲 7. cafe cove
〈期間〉 七輪に掛けて毎月7が付く日をまたぐ3日間

道の駅 すずなり

#七輪を囲んで“炙りSUZUなり”

獲れたての魚をさばき、揚げ浜塩を使い干すことで骨まですべて能登産を味わうことができる一夜干し魚。のとりまき・ねぎ・馬鈴薯・能登かぼちゃ・山菜の地元野菜。

道の駅 すず塩田村

#七輪を囲んで“モチもちすず塩”

汲み上げた海水を砂浜の『塩田』に何度もまき、太陽と風の力で蒸発させる。塩が付いた砂に海水を注ぎ、塩分濃度の高い水を作り、それを窯で炊いて水分を蒸発させて作る。

重要無形民族文化財
「揚げ浜式塩田」

plan 2

宿泊施設で七輪

珠洲市には民宿30軒、ホテル9軒、宿舎1軒ある。

- ➔ 農業、漁業などと兼任で宿泊業を営んでいる宿が多く、料理に特性が出せる強みがある。
- ➔ 交流を通し、帰ってこられる場所“第2の故郷”に。

七輪を周る際に宿泊施設とつなぎ、
七輪で食べる楽しさと新たな食の提案につながる。

plan 3

最端の地の7つのパワースポット 最高級の最美食

- 七つの拠点を巡り“輪(和)を描くように美食”を堪能できる。
- 仲間や地元の人との会話が增える。
- 地元との縁(円)を感じる。

✓イルカがもたらす幸せ

須須神社には、イルカが神の使者であるという伝説があり、2022年に現れたイルカのすずちゃんが運んできた幸運ある街。



道の駅 狼煙

#七輪を囲んで“北ほく狼煙”

甘味とコクがあり、豆腐、味噌、納豆に使用。
収穫量の拡大により金沢や京都、大阪の豆腐店でも話題。

その他

- #七輪を囲んで“炊き立て若米と旬野菜”
若山町で作られたお米と旬の野菜を使用した漬物。
- #七輪を囲んで“大納言の姫どら”
能登大納言小豆を使用したどらやき『姫どら』。
- #七輪を囲んで“焼き餅ぜんざい”
自然が育んだもち米から作られたお餅入りぜんざい。
- #七輪を囲んで“ホットバスケットチーズケーキ”
能登かぼちゃ『えびすかぼちゃ』を使用したケーキ。

珠洲市随一の
農業地域
若山町!

見附島



高さ28メートルの大きな見附島は大迫力。見附島がある海岸は『えんむすび一ち』と呼ばれ、恋人の聖地となっている。

おすすめスポット

Recommended spots

珠洲駅跡



『道の駅すずなり』のすぐ傍にあり、奥能登国際芸術祭では作品の展示場所に。まるで現役の駅ホームかと思うほど、ノスタルジックな風景が素敵。

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

SWOT分析による課題検討

- | | | | |
|----------------|---|----------------|---|
| S
強み | <ul style="list-style-type: none"> ユネスコ世界ジオパークの存在。 アクティビティの充実。 子どもが楽しめるスポットの充実。 自然に囲まれていて夏でも涼しい。 おしゃれなカフェがたくさんある。 車が少なく渋滞がない。 | O
機会 | <ul style="list-style-type: none"> 白山市全域が“恋人の聖地”。 縁結びの神様を祀る白山比咩神社。 テントサウナが楽しめる。 駅から1時間でパラグライダー。 季節に応じたアクティビティ。 オフグリットの意識。 |
| W
弱み | <ul style="list-style-type: none"> ジオパークの理解や説明が難しい。 観光スポットが点在しているが、二次交通手段が少なく費用がかかる。 周遊する動機付けがない。 | T
脅威 | <ul style="list-style-type: none"> 宿泊客が少ない。 “石川県＝金沢”のイメージが強い。 災害により『一里野温泉』の温泉が出ない。 |

💡 世界ジオパークを舞台とした白山ジオツーリズムの旅行プランに!

地域の魅力
選んだ理由

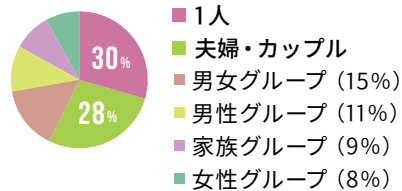
『白山手取川ジオパーク』が世界ジオパークに認定され、これから知名度が上がるのは間違いなく、その過程に私たちも関わりたいと感じたため白山市を選びました。白山市は大きく分けて海と扇状地と山のエリアに分かれており、そのような地域は珍しくそれぞれの自然を一つの市の中で感じられる素晴らしさがあります。



©石川県観光連盟

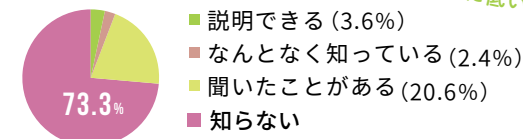
旅の調査 data

Q 白山市の宿泊者は?



※H30 国土交通省北陸信越運輸局『白山市及び周辺地域の観光資源の活用・魅力向上のための基礎調査』より

Q ジオパークを知っている?



10~20代の認知度が特に低い!

Q テントサウナ・パラグライダー・恋人の聖地の神社がある場所へ旅行へ行きたい?



顧客対象 target

地球を丸ごと楽しむなかで、自分を見つめなおすきっかけに!

大学生・25歳までの男女社会人グループ

要点 main points

“ジオパーク”五感の旅

ジオパークとは?
大地と自然と人々とのつながりや暮らしを学び、五感を使って地球を丸ごと楽しむ場所。

Professor's comment



関西観光教育コンソーシアム / 陶山 計介 教授

自治体や地元、JR西日本やJCOMの皆さんなどとの地域創生と観光・旅行コンテンツの磨き上げの取り組みは、ナレッジ、スキル、問題解決力、さらにコミュニケーションやプレゼンテーション能力など学生の成長やキャリア形成に繋がり、チームワークにも役立ちました。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

plan 1 “恋人の聖地”巡り

point スタンプラリーで周遊性+認知度UP!

- 白山市内に点在する縁結びや恋人の聖地に関するスポットに、ハートをあしらったデザインのスタンプラリーを設置し、周遊のきっかけを作る。
- スタンプをコンプリートできた人に景品をプレゼント! 白山市の水を汲んで帰ってもらう。



景品

- ①カフェコラボ
違うエリアにあるカフェのコラボアイテムが楽しめる。
- ②ハートのコースター
『うらら館』で手作り体験。
- ③バイオマスプラスチックボトル
白山の資源を使い、再生可能で自然に優しいボトルをつくる。

plan 2 最上級のいちりの美容体験☆

point 災害により出なくなった『一里野温泉』の代替りのデトックス施設として『テントサウナ』で蒸き付ける。

- 種類豊富な選べるシャンプー・リンスパー、フェイスパックバーを用意し、サウナ後のフェイシャルケアまでこだわったサービスを提供。
- ロウリュ+サウナハット+サウナ前後のドリンク+ヘアケア+フェイシャルケアで美意識UP!

イチオシポイント

サウナで汗をかいたあとは、美しい自然を一望できる贅沢な景色の中でおこなう“外気浴”でゆったりと身体を休めよう。風や木々の音が心を癒してくれる、最高な“整い”を体験することができる。夜は満点の星空の下でさらなる癒しを。

plan 3 ジオパークの夕焼け体験

point 時間帯を変えて、違った見え方を

- 土日祝祭日のみゴンドラの時間延長。
- 上から見えるイルミネーションを街全体に設置し、更なる特別感を演出。
- 雨で体験できない時は、施設内で体験できるプロジェクションにて獅子吼の夕日とジオパークの魅力を紹介。

イチオシポイント

2023年5月24日に『白山手取川ユネスコ世界ジオパーク』として、『ユネスコ世界ジオパーク』に認定!

究極のジオスポットとして獅子吼高原を活性化!



©石川県観光連盟

獅子高原パラグライダー



広大な扇状地と手取川、日本海を一望できる、高さ650mでのアクティビティ。目に入る景色は、世界ジオパーク認定地まるごと。

綿ヶ滝



手取峡谷にある落差32mのダイナミックな水流。滝の間近まで下りることができ、全身でマイナスイオンを感じられる。

おすすめスポット

Recommended spots

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

● 現状と課題

① 観光客の年齢層について

- ➡ 若年層よりも高齢層の観光客が多い。
- ➡ 若年層にも訪れてほしいが、若者が楽しめるアクティビティが少ない。

② 宿泊者数について

- ➡ 日帰り・立ち寄り客が多く、滞在につながらない。

③ 土産ものについて

- ➡ 敦賀ならではの土産がない。

💡 デジタル社会で疲れた心身をリフレッシュできる、若者向けの旅の提案!

- ✓ 身体を動かせる、自然の中で楽しめるアクティビティコンテンツ。
- ✓ 花換まつりをモチーフにした土産。
- ✓ 夜市を新たな観光資源にすることで宿泊へつなげる。
- ✓ 大学生の春休みと夏休み向けプラン。

地域の魅力
選んだ理由

私たちが選んだ福井県敦賀市は、2024年3月に控える北陸新幹線の敦賀延伸により、多くの観光客が訪れることが見込まれる地域であり、敦賀市の今後の観光振興の一助になればと思ったからです。福井県敦賀市の魅力として、『気比の松原』や『気比神宮』など多くの観光資源があることや、日本海や敦賀湾の新鮮な海の幸を堪能できることが挙げられます。



©福井県観光連盟

旅の調査 data

Q 敦賀市の魅力は?

日本海側に面する港町で、豊かな自然と新鮮な海の幸、貴重な歴史資源が豊富!

歴史

- 気比神宮
- 敦賀ムゼウム



食

- 海鮮丼
- ソースカツ丼

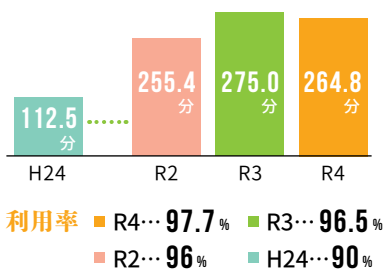


自然

- 水島
- 気比の松原



Q 20代のインターネットの平均利用時間は? ※総務省調べ



顧客対象 target

学生の、年に2回の長期休みにうってつけの旅

非日常を体験したい
関西在住の大学生

要点 main points

“世界をつなぐ港まち”

デジタル社会に疲れている若者にとって、開放感ある旅に。

デジタルデトックスの効果

- 睡眠の質の向上
- 肩こり・頭痛軽減
- SNS疲れ軽減
- 集中力の向上



スマホから離れてフィルムカメラを使ってみよう! 限られた枚数でどの瞬間を残すか。

Professor's comment



広島経済大学 経営学部 / 藤口 光紀 名誉教授

実社会で活躍するために必要な『人間力』を身につけるためには、何事にもチャレンジすることが必要です。北陸レヅはまさに、学生のチャレンジの場の一つです。チーム内でしっかりコミュニケーションを図り、方向性を明確にして取り組まないといい企画は生まれません。この経験は、社会人になってから大いに役立つでしょう。

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

春・夏の敦賀市旅プラン

春の周遊 《1日プラン》敦賀駅 ➡ ヨーロッパ軒 ➡ 氣比神宮 ➡ 金崎宮 ➡ 敦賀赤レンガ倉庫 ➡ 人道の港 敦賀ムゼウム

夏の周遊 《1日目》敦賀駅 ➡ 水島 ➡ 気比の松原 ➡ グランビナリオTSURUGA
《2日目》グランビナリオTSURUGA ➡ 福地ガラス工房 ➡ 日本海さかな街

plan 1

1

お土産の開発 花換まつりをモチーフに

point 縁結びと恋愛成就のパワースポットにちなんだ商品。

金崎宮や敦賀を知ってもらうきっかけになり、“もしかしたら恋が実るかも!?”といったジンクスで盛り上がるアイテムに。

- 花形のクッキー
- 個包装の袋に恋みくじを封入

金崎宮(別名:恋の宮)の『花換まつり』



©福井県観光連盟

➡ 3月下旬~4月上旬に開催。「花換えましよう」と声を掛け合い、桜の小枝を交換し恋心を伝えあうロマンチックなお祭り。

➡ 『花換え』をしたカップルは将来幸せに恵まれるといわれる。

plan 2

2

アクティビティ 無人島で至極のひと時を

point 水島のオフシーズン(9月)に楽しむじっくりSUP体験ツアー。

- 1 SUPに乗って水島に上陸
- 2 新鮮な地元の魚や食材をBBQで堪能
- 3 青空の下でゆったりお昼寝リラックス
- 4 きれいな景色を見て、自分と向き合う時間づくり
- 5 一緒に行った友達と思い出を共有する時間づくり

非日常体験でデジタルデトックス!

plan 3

3

ナイトコンテンツ 春・夏開催の『つるがる夜市』

point 敦賀(つるが)で“つながる”をテーマに、屋台やイベントなどが盛りだくさんのナイトマーケット。

- 1 食によるつながり
 - ➡ 自由参加のBBQで、イベント参加者の出会いに。
 - ➡ 敦賀市内の飲食店の屋台やキッチンカーが集結。
- 2 イベントによるつながり
 - ➡ りんご型の短冊に自由に願い事が書けるコーナーや、フィルムカメラの写真を展示できる参加型イベント。

敦賀の人と観光客がつながることができる集いの場!

水島



『北陸のハワイ』と呼ばれる、エメラルドグリーンの海が広がる小さな無人島。SNS映えする美しい海と白い砂浜が魅力。

人道の港敦賀ムゼウム



苦難を乗り越えて敦賀に降り立ったポーランド孤児とユダヤ難民の歴史を展示。命の大切さと平和の尊さを伝えてくれる。

おすすめスポット

Recommended spots

Presentation!

体験成果プレゼンテーション

課題 assignment

課題検討 SWOT分析による

- S 強み**
 - ✓ 中年層の認知度が高い。
 - ✓ おいしい食が豊富。
 - ✓ 自然が豊か。
 - ✓ 体験施設が多い。
 - ✓ 歴史、伝統文化が多く残っている。
- W 弱み**
 - ✓ 若年層の認知度が低い。
 - ✓ 二次交通の脆弱さ。
 - ✓ 施設の限定性。
 - ✓ 地域間の連携不足。
 - ✓ 食べ歩きスポットが少ない。
- O 機会**
 - ✓ 北陸新幹線の開通。
 - ✓ 観光列車『はなあかり』への注目。
 - ✓ 地域特産品の活用。
 - ✓ 観光資源の開発。
- T 脅威**
 - ✓ 競合地域との競争。
 - ✓ 天候の影響を強く受ける。
 - ✓ 人口減少の影響。

- 1 若者層にとって魅力的なコンテンツを。
- 2 冬場の集客ポイントを。
- 3 食事と宿泊以外で消費できる場所を。
- 4 滞在時間を延ばすアクティビティを。

👉 母娘に贈る、思い出作りと感謝を伝える2泊3日旅行プラン!

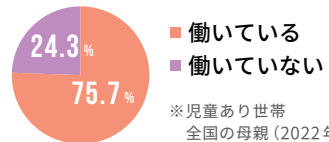
選んだ理由

『若狭塗り箸・箸研ぎ体験』や『よっばらい鯖』が有名であるなど、食・文化・体験で満喫できる場所があると知り、選びました。選んだ理由として、課題である“若者へのアプローチの少なさ”“観光客の滞在時間の短さ”をどう改善・PRをして、小浜市の魅力的な食・文化を幅広い年代に知ってもらい、ぜひ小浜市に訪れてみて欲しいという思いがあったからです。



旅の調査 data

Q 働いている母親の割合は?



Q 大学時代に母との2人旅行に行った?
■ 行った (25.7%) ■ 行っていない (74.3%)

Q 大学時代に母と旅行に行きたい?
■ 行きたい (79.7%) ■ 行きたくない (20.3%)

※調査対象: 18歳~22歳 女性 74人 (2023年10月)

希望者たくさん!

顧客対象 target

仕事に追われる50代母親と、就職が決まった大学生の娘の2人旅。 母×娘

要点 main points

“母親が娘を誘って”

中年層の認知度の高さ + 若者の認知度の低さ = 母娘

- 《母》・娘と思い出を作りたい
- ・日頃の疲れを取りたい
- 《娘》・母に感謝を伝えたい
- ・母に疲れを癒してほしい

Professor's comment



流通科学大学 商学部 / 羽藤 雅彦 教授

自分たちが大学生活で学んだことをいかに現場で生かすかを体験してほしいと考えています。机上の空論にならず、また提案内容を誰が実施するのかを意識しながら、継続性や客観性があり、実現可能な提案をチームで議論しながらしてほしいと考えています。

学生たちお気に入りの「くずまんじゅう」

©福井県観光連盟

さらに充実した旅にするために私たちが考えた

Original plan 観光プランの提案

～冬の2泊3日 卒業旅行プラン～

plan 1

1日目『感謝を贈ろう』

point.1 小浜名物“小浜よっばらいサバ”

『酒粕』を食べて大きくなった、清澄な海水で育った日本随一の鯖。水揚げが減少していた小浜の鯖を復活させるプロジェクトが2016年に発足し、多くの人々の努力の結晶。



■『海幸苑』鯖の浜焼き定食

point.2 感謝を形にする! 特産品“小浜ブルー”でコップづくり

小浜ブルーのガラスをコップに貼り付ける。『食』とのつながりがあるコップにすることで、2日目の食事の際に晩酌のお供として使用できる。



■小浜ブルー 『KEIS 庵』が試行錯誤して制作したガラス。ガラスの素材に小浜の砂や若狭牡蠣の貝殻、よっばらいサバの骨、海の廃棄物を再利用。

point.3 一棟貸しの『小浜町家ステイ』“鍋囲んで会話弾む”夕食

小浜の歴史ある街並みに現存する町家をリノベーションした古民家宿。暮らした文化を体感し“暮らすように泊まる”空間。

- 町家ステイで鍋パーティー 出世魚“ぶり”メインの具材で小浜の海鮮を楽しむ。
- 鍋の味を選んでもらう 昆布 / キムチ / 味噌 / 寄せ鍋

plan 2

2日目『思い出を増やそう』

point.1 寺社巡りで、鯖型弁当箱“鯖箱”をゲット!

寺社に設置したスタンプ台から、専用の台紙にスタンプを集める。すべてクリアしたらまちの駅で“鯖箱”と交換。

point.2 “若狭塗り箸”箸研ぎ体験で贈り合う

伝統工芸品を学べるだけでなく、箸研ぎ体験にストーリーを。滞在時間をゆったりじっくり贈り物の交換に使ってもらおう。若狭和紙を使った、メッセージ入りの箸置きづくりも。

point.3 まちの駅こたつ×夜ピクニック

- 夜空を眺めてこたつで温まる、施設内の団樂の場。
- 手作りコップ×小浜の飲みもの
- 鯖箱・若狭塗り箸×小浜の食べもの

おすすめスポット

Recommended spots

御食国若狭おばま食文化館



日本初の公立の食文化博物館。食の歴史・文化や伝承料理の展示、郷土料理を作って味わうこともできる。

護松園(旧古河屋別邸)



北前船で財を成した『古河屋』が建てた、お殿様をもてなす為の建物。昔ながらの雰囲気の中で、コーヒーやケーキを楽しめる。

学生たちによる、旅を振り返っての感想

関西大学〈石川県加賀市チーム〉



今回の北陸カレッジにおいて、加賀市の抱える課題を『加賀市でしかできない方法』で解決する提案を考えることが難しかったです。工夫した点として、私たちの提案は情報量が多かったため、発表全体を通して一貫性のあるテーマを決め、聞き手に伝わりやすくすることを心掛けました。

現地研修の工程や提案を考える過程で、考慮すべきことが多く、壁に当たることが度々ありました。こうした壁を乗り越えることができたのは、様々な人々の協力があってこそだと考えています。カレッジの取り組みを通じて、一人で行うことには限界があり、周囲の協力があってこそ物事を成し遂げることが可能だと学びました。

和歌山大学〈富山県南砺市チーム〉



南砺市は、合併によりできた市であることから、面積の広さと交通の不便さが提案を考える上での課題でした。交通手段を増やすというのは現実的ではないと考え、今ある移動手段を使いながら、移動時間の無駄を少なくすることで、移動時間でも楽しんでもらえるような提案を検討しました。

今回のカレッジの経験を通じて、地域の方々との交流から得られる視点やアイデアは、私たち自身ではなかなか気付けないものであり、実際に足を運ぶことで、地域の魅力や課題を直接感じることができ、さまざまな場面でその大切さを実感しました。

和歌山大学〈福井県福井市チーム〉



ターゲット選定が難しかったです。福井市に合う年代・性別・人数などのアイデアを出し合い、その上でそのターゲットの背景も一緒に考えて工夫し、福井市のどのようなコンテンツがターゲットにはまるのかを考えることができました。

また、旅を通して福井市の魅力的なスポットや人の温かさに気づくことができました。単に福井市についての発見をただだけでなく、見やすい資料の作り方や注目を集めやすい発表の仕方、効率的な会議の進め方など、今後も役立つような重要な学びを得られました。

神戸松蔭女子学院大学〈石川県珠洲市チーム〉



自分たちが感じた魅力をそのまま提案に繋げるのではなく、そこに住む地域の方のことを意識した提案内容にすることを考えました。外から見た魅力の掘り起こしの後、課題を解決するだけでなく、実現後に地元の方の協力を得ることができるのかを考え、市の方と話し合いの場を多く設けることを中心に行いました。

魅力の発掘方法、考え方の違いを学びました。観光マーケットを考える上で、何を求められているのか、グループで話し合う中での個人の着眼点は異なっていました。また、報告会では異なる勉強をする他大学の考え方の交流はとても刺激を受け、広い視野で考えることなどの新たな視点を見つけることができました。

清泉女子大学〈福井県越前市チーム〉



難しかった点は、限られた発表時間の中でメインの提案とは別に、越前市の多種多様な魅力をできるだけ削らずに発表内容を考えた点です。工夫した点は、できるだけ多くの魅力をわかりやすく伝えるために、『手』というワードで共通性を持たせ、このワードを聞き手に印象づけるための発表やスライドを考えた点です。

北陸カレッジ2023を通して知った新しい学びは、『プロセスの重要性』です。この1年間『最優秀賞獲得』という目標に向かって活動してきましたが、目標達成はできませんでした。しかし、本番に至るまでの過程を大切にできたため、後悔なくやり切ることができました。

関西観光教育コンソーシアム〈石川県白山市チーム〉



他の大学チームとは違い、2つの大学で取り組んでいたため、予定が合わせづらく意見交換の場を設けることが困難でした。しかし、集まらない時は大学ごとに意見を交換し、両大学の意見を集まった時に議論するといった工夫を行っていました。

白山市という素晴らしい場所を知ることができ、地域の方とお話をする中で自分の地元にはない考え方や風習があることを学び、とても貴重な体験をすることができました。また、学生同士や白山市の方と議論の中でコミュニケーションの回り方や、ほかの人にいかにか正確かつ簡潔に伝えるかを考える機会になりました。

追手門学院大学〈富山県滑川市チーム〉



メインの提案となるスイーツを考案する際、使える食材や予算的に使えない食材などがあり、理想と実現性のギャップという部分は考える上で難しかったです。そのため、インパクトを考えることに加え、スイーツに背景や意味付けを行うことで『滑川らしさ』を表現する工夫をしました。

また、実際に現地に行かないとその地域の魅力が分からないことを学びました。北陸地方には、私たちが知らない地域の魅力がたくさんあります。事前学習では気づくことができなかったこと(地元の方々の温かさ、観光資源など)を現地で感じることができました。滑川市の魅力を発信するには、まず足を運んでもらうきっかけ作りが重要でした。

広島経済大学〈福井県敦賀市チーム〉



コンパクトシティが魅力である中、観光客にどう滞在してもらおうかを考えるのが難しかったです。宿泊客増加を目指し、人道の街『敦賀』をコンセプトに、観光客を温かく迎え入れる『夜市』を企画。参加型イベントや地元の食を堪能できる場を通し、夜間でも楽しく滞在できる工夫をした他、地域の方と観光客がつながる工夫をしました。

現地に行き、実際に街を見ることやお話を伺うことで、街の素晴らしさや人々の温かみを感じることができ、SNSで事前調査した際より街が身近な存在になりました。街の本当の魅力を知るためには、実際にその地域に住んでいる人と出会い、思いを聞くことや、自分の目で見て肌で体験することが大切だと学びました。

神戸松蔭女子学院大学〈富山県射水市チーム〉



スライド作りは、神戸松蔭の雰囲気と内川のカラーを表すために、色使いにこだわりました。食香バラを主軸としていたため、ピンクを多く使用し、内川と神戸松蔭の水色も使用しました。マーケティングに慣れておらず、データとしてターゲット層や提案内容との繋がりを見つけることが難しかったです。

たくさんの方の企業や、主に旅行会社がこのように現地の魅力を、自分たちで体験し、どのようにアピールしているのかを知ることができました。それまでの過程で何をしているのか、与えられる側だった私たちにとって学びとなりました。1つのことに対して、いろいろな方面でたくさんの方の協力があることも発見となりました。

流通科学大学〈福井県小浜市チーム〉



工夫した点は、小浜市の現在の魅力を生かしつつ、私たちが考えたオリジナルな鯖箱・サバックなどを融合した提案をしたことです。難しかった点は、資料作成です。私たちの考えを見てもらい、人にうまく伝達することができるような統一感ある資料の作成を作るには、どのようにすべきかがとても難しかったです。

新しい発見は、提案したものを継続して活かせるのかという点を考えることの重要性です。いくら良いアイデアであったとしても、一時的で継続できなければ地域活性化としての効果は小さいです。よって、地域の可能性と照らし合わせて、継続的に活かしていけるのかを考えることが良い学びとなりました。